

# 「サステイナブル健康都市おおぶ」のまちづくりの成果

本市は、第6次大府市総合計画の将来都市像に「いつまでも住み続けたい サステイナブル健康都市おおぶ」を掲げ、こどもたち、孫たちの世代が将来にわたって、安心して住み続けられる持続可能なまちづくりを推進しています。本年4月に、民間の有識者会議、厚生労働省の統計調査、NHKの報道番組において、本市のまちづくりの持続可能性に関する次の分析結果が発表されました。

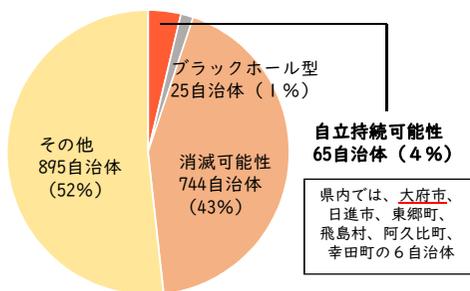
## 自立持続可能性自治体

【主な施策】区画整理事業の支援、公園・緑道の整備、優良企業の立地（平成28年度以降35社）、こども・子育て八策とおおぶこども輝く未来応援八策の推進、高齢者・障がい者支援、ふれあいバスの充実、音楽・バイオリンの里のまちづくり

本市は、人口戦略会議が発表した「令和6年・地方自治体「持続可能性」分析レポート」において、全国で4%の「自立持続可能性自治体」に位置付けられました。

本市は、今後も市外からの転入により、若年女性人口の減少が少なく（移動仮定）、また、転入を想定しない場合であっても、高い出生率により、若年女性人口が大きく減少しない（封鎖人口）と予測され、持続可能性の高い都市に分類されました。

令和6年・地方自治体「持続可能性」分析レポート



封鎖人口 移動仮定	減少率20%未満	減少率 20~50%未満	減少率 50%以上
減少率20%未満	<b>自立持続可能性</b>	その他	ブラックホール型
減少率 20~50%未満			
減少率50%以上		消滅可能性	

※「減少率」は、若年女性（20~39歳）人口の減少率

### 【自立持続可能性自治体】

移動仮定、封鎖人口ともに若年女性人口の減少率が20%未満の自治体。100年後も若年女性が5割近く残存しており、持続可能性が高いと考えられる。

## 合計特殊出生率

【主な施策】こども・子育て八策とおおぶこども輝く未来応援八策の推進（こども未来応援金、民間認可保育所等の誘致による待機児童ゼロ、家庭で子育て応援クーポン、中学校給食無償化、結婚新生活補助金）、事業所の仕事と家庭の両立支援

厚生労働省「人口動態保健所・市町村別統計の概況（平成30~令和4年）」において、本市の合計特殊出生率が県内2位の1.71を記録し、全国の1.33、愛知県の1.44を上回りました。

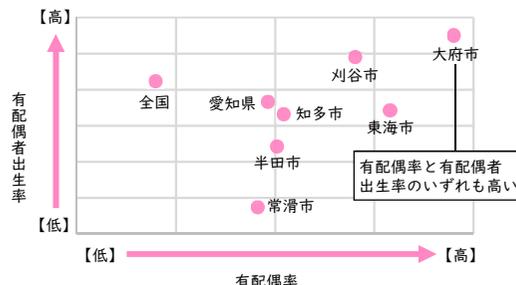
感染症の拡大等の影響で前回の1.93より低下したものの「おおぶこども輝く未来応援八策」によるこども・子育て支援の充実により、特に25~39歳の女性の有配偶率と有配偶者の出生率がいずれも高い水準となり、希望する女性が結婚・出産しやすいまちとなっています。

合計特殊出生率（※）



※15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が一生の間に産むこどもの数に相当する。

25~39歳の女性の有配偶率と有配偶者出生率



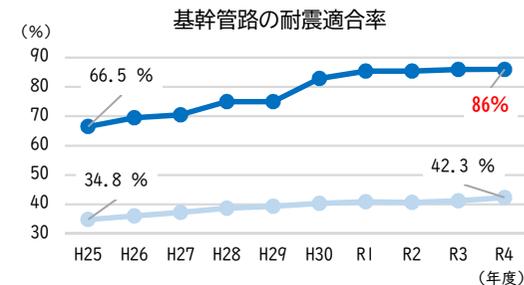
（出典：大府市※R2年実績）

## 水道管路の耐震化・老朽化対策

【主な施策】大府市水道ビジョン・大府市水道事業経営戦略の策定、水道企業経営に特化した組織の設置、水道管路の計画的な耐震化・老朽管更新工事の推進、配水施設・水管橋の耐震化工事の推進

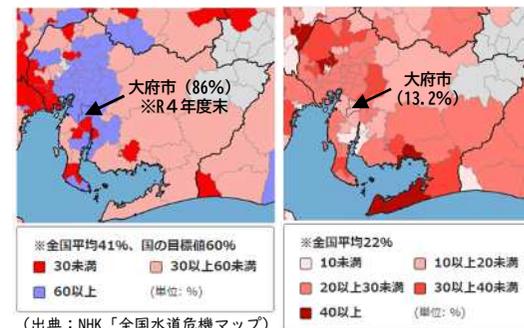
本市は、市民に安心・安全な水道を安定的に供給し、持続可能な水道事業を実現するため、「大府市水道ビジョン」に基づき、管路・配水施設の耐震化・老朽化対策に計画的に取り組んでいます。

その結果、基幹管路の耐震適合率は、令和4年度末時点で全国平均の42%を上回る86%、管路の経年化率は、令和3年度末時点で全国平均の22%よりも低い13.2%となり、災害にも強い水道事業を計画どおりに推進しています。



（出典：大府市）

耐震適合率（R3年度末） 管路経年化率（R3年度末）



（出典：NHK「全国水道危機マップ」）